

第66回大会 <戦評>

諏訪中会場

【Aコート】

○決勝戦 牛山丸2（宮川小） 13-28 すわよーいGO（諏訪養護）

前年度優勝の宮川小と、安定した得点力を武器にトーナメントを勝ち上がった諏訪養護との顔合わせになった決勝戦。オープニングショットは諏訪養護#9樋口。試合開始直後に鮮やかに決めた。#9樋口を中心にスピーディな展開をする諏訪養護に対し、宮川小は#13田中を中心にパスを回して試合を作る。#9樋口が2ゴールをあげてからゲームが膠着し、両校とも譲らない展開が続いたが、諏訪養護が3ゴール目を決めると、宮川小#13田中が反撃のシュート。宮川小がようやく得点を決めた直後、宮川小#4宮阪が負傷退場してしまうアクシデントが発生。この退場に、宮川小にプレッシャーがかかったように見えた。

宮川小は#13田中のゴールで追いかけるも、諏訪養護も着実に得点を重ね、10-4で前半を終了。後半に入ってから怒濤のゴールラッシュで追加点を奪う諏訪養護。#27小須田が高さを生かしたパワープレイで得点し、エースの活躍を見せる#9樋口も3ゴールを連続して奪うなど、勢いが衰えない。対する宮川小は#7伊藤が3Pシュートを立て続けてきめ、負けじと食い下がり、終盤に#13田中も3Pをねじ込むが、反撃はここまで。28-13で諏訪養護が前年度覇者の宮川小を破り、優勝を果たした。



【Gコート】

○準決勝戦 歯ッピー四賀（四賀小） 17-8 原小セロリンズ

1回戦で中洲小に勝利してきた四賀小とシードに入っていた原小の対戦。昨年度も対戦しており四賀小が勝利していたため、リベンジを果たすため序盤から原小の#4田中が3Pを決めリードを広げる。四賀小の#6小林もシュートを決めるが、得点が届かず、前半は3-8の原小リードで折り返す。

後半は、四賀小が上手いパス回しからフリーを作り#6の小林のポイントから次々とシュートを決めていく。原小も負けじとシュートを打とうとするが四賀小のディフェンスに阻まれ得点することができず17-8で四賀小の勝利。昨年度に引き続き、四賀小が勝利で決勝へと駒を進めた。

○決勝戦 歯ッピー四賀（四賀小） 18—45 すわよーいはじめ（諏訪養）

圧倒的な強さでブロックを勝ち上がってきた諏訪養護学校の決勝戦。お互い2試合を戦い、互いに研究してこの試合に望んだことが序盤から伺える試合となった。お互いに点の取り合いとなり、四賀小の#1中村が3連続ゴールを決めれば、諏訪養の#中島がシュートを決め、一進一退の攻防が続く。前半はお互いに譲らず11—14で折り返す。

後半は諏訪養#20奥原が敵を引きつけフリーを作り、次々とパスをさばく。このパスから#19両角がシュートを決め、突き放しにかかる。その後、四賀小も得点を重ねようとするが、突き放され諏訪養が18—45で勝利。諏訪養がみごとに優勝を果たした。

【 I コー ト 】

○1回戦 玉川マヨネーズ（玉川小） 12—9 牛山丸1（宮川小）

前半、宮川小は#5三澤のフリースローの2投目がきまり1点を先行する。対する玉川小は#1畠山のミドルシュートで2点を取る。宮川小は、#6両角のバックシュートが決まり2—3と逆転する。その後は、玉川小#1畠山がランニングシュート、ミドルシュートと連続して得点を決め、前半を8—3の5点リードで折り返す。

後半は、宮川小が反撃。#5三澤の2点、#3林の3点で8—7と1点差まで追いつける。しかし、玉川小は前半と同じく#1畠山の連続シュートで12—7と再び5点差にリードを広げる。宮川小は何とか追いつこうと攻撃を繰り返すが、なかなか得点が奪えず、最後に#5三澤のリバウンドからのシュートを決めたものの反撃もここまで。結局、12—9の3点差で玉川小が辛くも逃げ切って勝利を収めた。

○決勝戦 玉川マヨネーズ（玉川小） 14—28 城南しゅうちゃんず（城南小）

1回戦で宮川小との接戦に勝利した玉川小と強豪校の諏訪養護を破り勝ち上がった城南小との決勝戦。両チームとも主軸となる校長同士による得点の取り合いとなった。

まずは、城南小。#4守屋が長身を生かして次々とゴールを決め、なんと5連続得点と絶好調な滑り出しを見せる。対する玉川小は、対宮川小戦で全得点を一人で決めた#1畠山がこの試合でも好調に得点を重ねたものの、前半は12—6のダブルスコア。城南小リードで折り返す。

後半、玉川小は追いつきを見せようと、#10高木や#5橘も得点を決め奮闘する。しかし、城南小は#4守屋に加え、#7小林や#8小口、#10百瀬らもまんべんなく得点し、追いつがる玉川小を更に突き放す結果となる。結局、28—14で、前半同様ダブルスコアのまま試合は終了。城南小が玉川小を破り、マスターズ会場での優勝の栄冠に輝いた。

長峰中会場

【Bコート】

○1回戦 ちのほくブルック(茅野北部中) 25-21 富士見曾根コーチ参上(富士見中)

茅野北部中のゴールからゲームがスタート。富士見中5番西路のシュートが決まり2点をあげ、更にフリースローを決め得点を追加する。茅野北中は#4清水のシュート、#2轟がフリースローを決める。対する富士見中も#8宮崎の3ポイントシュート、#5西路のシュートなどで得点を重ね、13対13の同点で前半を終える好ゲーム。

後半、富士見中のスローインからゲームがスタート。茅野北部中#4清水、#3小坂のシュートで得点を重ねる。富士見中も#5西路のシュート、#7岩崎の4ポイントシュートを決めるなど反撃を見せるが、ゲーム終了。25-21で茅野北中が勝利した。

○決勝戦 歯ッピー四賀(四賀小) 37-23 長峰ルパン(長峰中)

1回戦の接戦をものにした長峰中と得点力が光る四賀小の決勝戦。ゲームは四賀小のゴールから動き出す。対する長峰中は#3飯田のパスから#5杉山のレイアップシュートを決める。四賀は#5五味が続けて2本シュートを決め長峰中に差をつけ始める。対する長峰中は#5杉山、#7前田が得点を重ね、前半を18対14と四賀小がわずかにリードして終える。

後半は長峰中のスローインからスタート。パスカットから四賀小#5五味、#9竹内、#6椎名が続けてシュートを決めて点差を広げる。長峰中も#3飯田の3ポイントシュート等で反撃するがゲーム終了。決勝戦は37-23で四賀小が勝利し、優勝を果たした。

【Hコート】

○決勝戦

茅野東部デビルファイヤーズ(茅野東部中) 18-13 おい!かわいい女(小井川小)

東部中は1回戦、長地小との延長戦の激闘を1点差で勝利し、2回戦の永明小に追い上げられながらも接戦を制し、小井川小との決勝戦を迎えた。対する小井川小は、#14椎名を中心とし、アウトサイドやミドルのシュートを武器に、玉川小とのこれまた延長戦を制して決勝を迎えた。

決勝戦開始直後に、東部中#9金井が素早いドライブで4点を奪った。小井川小は、得点を重ねてきた#14椎名がドライブで切り込み、アウトサイドへパスをさばき#6池田がシュートを決める。その後#14椎名が3Pを決め、試合は点の取り合いとなった。前半終了間際、東部中#8市村が速攻で走り出すも小井川小の堅い守備に阻まれる。そこで#1降旗が走り込み、#8市村がそこへパスをさばいてシュートを決め、立て続けに3Pを奪い前半は9対5で折り返す。

後半、東部中はゾーンデフェンスから#1降旗と#5朝倉が徹底的に#14椎名をマークし、小井川小の攻守の要である#14椎名の攻めを封じる作戦に出た。だが、#14椎名の勢いは止まらず後半は計5得点。東部中は、攻めに焦りが出始めなかなか得点に結びつかない。#5朝倉と#2中澤が2得点ずつ決め、そのまま逃げ切るかと思いきや、小井

川小# 6 池田が同点のシュートを決め後半は1 3対1 3で延長戦にもつれ込んだ。

延長開始直後、東部中# 8 市村がミドルからのシュートを決める。東部中の厳しいディフェンスに阻まれ、なかなか点を奪えなかった小井川小。終了間際に# 1 降旗がだめ押しの3Pを決め、1 8対1 3で東部中の勝利。東部中は3連覇を果たした。

諏訪南中会場

【Cコート】

○1回戦 川岸ストロング（川岸小） 16－10 岡谷東部みっちーズ（岡谷東部中）

1回戦屈指の好カード。開始直後、川岸小# 8 濱家がドライブからのジャンプシュートで先制する。その後、両チームともチャンスはあるが、なかなか得点が入らずに試合は膠着状態を迎える。その後、川岸# 4 林の得点でリードを広げるが、岡谷東部は# 2 2 元田のフリースローや# 1 小野の速攻などで追い上げをはかる。しかし、川岸# 1 0 矢島がゲームをうまくコントロールし、川岸小のリズムのまま前半は10－5で川岸小がリードして終わる。後半に入り、岡谷東部# 1 小野が鮮やかにミドルシュートを決めるが、川岸# 4 林がリバウンドからのジャンプシュートを決める。その後、両チームともインサイドでの得点をねらうが、ブロックショットや厳しいシュートチェックにより、得点が入らずに時間が経過していく。残り3分となり、岡谷東部はタイムアウトをとり、流れを引き寄せようとする。# 1 小野がパスカットから得点をするが、川岸小は# 5 増澤の速攻などで点差が縮まらない。そのままゲームの流れは変わらずに16－10で川岸小が勝利した。

○決勝戦 希望の塔（長地小） 23－34 スマイル富士見小（富士見小）

開始早々、富士見# 1 5 飯田と# 5 久保田の連係から# 1 5 飯田が立て続けにゴールを奪いリードする。対する長池小は# 8 大谷が1対1からのシュートを決めて応戦する。富士見小はメンバーを交代しながらリードを保つが、長池小のリバウンドの強さに徐々に押しされ始め点差が縮まり前半は13－12の富士見小の1点リードで終わる。後半に入り、富士見小は# 1 5 飯田、# 9 宮澤のシュートで得点を重ねるが、長池小は# 3 澤田の3Pシュートで同点に追いつく。その後、# 4 大道の得点で逆転に成功し、富士見小はすかさずタイムアウトを取る。しかし、長地は# 6 中山がゴール下を決めリードを広げる。その後、富士見小# 1 5 飯田が3P、速攻を決め同点に追いつく。すかさず長地# 8 大谷がゴール下を決めるが、# 1 5 飯田がフリースローを2本決め同点に。さらに飯田の連続得点で再逆転し、# 5 久保田の速攻でリードを広げる。# 1 5 飯田が離れたところから3Pを決め、その後も得点を積み重ねた富士見小が34－23で勝利した。

【Eコート】

○1回戦 泉野応援隊（泉野小） 24－29 城南しゅうちゃんず男子（城南小）

開始直後、城南小# 2 根橋の連続得点で城南小がリードする。対する、泉野小は# 6 大平がジャンプシュートで連続得点を決め、追い上げようとするが城南小は# 2 根橋が起点となり# 1 高野のレイアップシュートで点差を広げる。そのまま14－6で城南小がリー

ドして前半を終える。後半に入り、疲れの見える泉野小に対して、城南小がパスカットから#6田村や#1高野がシュートを決める。一方、泉野小も#3内藤がシュートを決め応戦する。泉野小#11矢崎が長身を生かしたリバウンドで攻守に活躍を見せるが、なかなか点差が縮まらない。リードをそのまま保った城南小が29-24で勝利した。

○決勝戦 諏訪西ウエスタンカーニバル（諏訪西中） 16-25 セイブオールスターズ（岡谷西部中）

ティップオフ後、西部中#8北澤のシュートで先制する。対する諏訪西中は#9五十嵐がゴール下でシュートをねじ込む。その後、両者得点を取り合う攻防がつづいた。西部中は#4小平を中心に、諏訪西中は#7小羽石を中心に攻め立てる。西部中が#4小平の3点シュートで突き放しにかかるが、諏訪西中は#9五十嵐のリバウンドから得点を重ね食らいつく。前半は12-11の諏訪西リードで折り返した。後半最初は、お互い疲れが見られなかなかシュートが入らない状況が続く。西部中は、交代から流れを変え、#3河口のシュートなどの連続得点で突き放しに成功する。一方諏訪西は、#8高野のジャンプシュートを機に追い上げを試みるが、続かない。そのまま西部中が逃げ切り、16-25で西部中が優勝した。

岡谷南部中会場

【コート】

○1回戦 岡南斗聖拳（岡谷南部中）38-16 岡北斗の拳（岡谷北部中）

岡谷市内同士が1回戦から対戦することとなった注目の一戦。どちらも堅い守りで得点を許さない序盤。この展開から抜け出したのは岡北斗の拳。#2植松がランニングシュートで得点。試合が動き出す。このシュートで波に乗るかと思われたが、岡南斗聖拳#1中村がすぐに得点を奪い返す。その後両チームとも堅い守りを見せる中、岡南斗聖拳が#5飯田と#4宮澤の連続得点で抜けだし、流れをつかむ。岡北斗の拳も#2植松と#3松林の個人技で得点を重ね、粘りを見せるが、前半は15-6で岡南斗聖拳がリードして終了。

後半、岡南斗聖拳が#3塩野の3Pシュートで先制。前半の勢いそのままに流れをつかむ。その後も堅い守りから要所で速攻やミドルシュートを決めた岡南斗聖拳が徐々にリードを広げる。岡北斗の拳も#松林や#2植松の得点でなんとかくらくらいつこうとするが、結局得点差は縮まらず、38-16で岡南斗聖拳が勝利した。

○決勝戦 岡南斗聖拳（岡谷南部中）-チームGods（上諏訪中）

上諏訪#1加藤のシュートで2対0 岡谷南部#1中村がすぐに入れ返し2対2 上諏訪#3吉澤がシュート 2対4 上諏訪#4宮澤のシュートで点差を広げ2対6 岡谷南部#3塩野が連続でシュートを決め、岡谷南部#4宮澤がさらに加点6対8と逆転したところで流れは徐々に岡谷南部へ傾き、上諏訪メンバーを大きく入れ替える。しばらく得点は膠着状態 岡谷南部#5飯田のシュートで得点が動き、岡谷南部#4宮澤の速攻、#3塩野のシュートで点差を広げ、6対14 前半の最後も岡谷南部#4宮澤が相手のパスをカットし、そのままシュート。6対16で前半終了。

後半は、岡谷南部#3塩野が3点シュートを決め 上諏訪#8楯岩が入れ返す。

残り4分25対11と大勢が決まったところで、両軍女性を投入する。お互いにシュートを打ち合うが、なかなか入らずにいたが、岡谷南部#6原田がゴール下でシュートを決め28対11 終了1分前、岡谷南部#3塩野がだめ押しのスリーを決める。31対11 岡谷南部#6原田は、指の痛みを訴えるも交代はしない。ゴール前で待ち構えていたところに、#1中村からパスをもらいシュートを決めて終了。最終スコアは34対11で岡谷南部中学が勝利。

【Fコート】

○1回戦 平成最後の永小BOYS（永明小）27-21 中洲ホワイトバード（中洲小）

中洲#2伊藤のシュートで先制。0対2中洲#10濱のシュートが決まり0対4 永明#1五味シュートで反撃。永明#6武田の速攻が決まり、中洲小タイムアウト残り4分中洲#8美齊津がフリースローを2本沈める6対7と逆転。しかし永明#6武田シュートを決め、永明#9小林が速攻をファウルで止められるが、ふりスローを2本決める 永小#6武田が決めると、中洲#9山本がフリースローを決め、前半は中洲#4田村がゲームをコントロールするも、永小の若さあふれる速攻がじわじわと効き12対10で永明小がリードして前半が終わる。

後半は永小の攻撃からスタート。永小#6番吉川の速攻で14対10。永小#武田が連続して得点、永小#9小林が活躍。中洲は#4田村がギアを上げて奮闘し、中洲#8美齊津のシュートや自らのフリースローで反撃するが、最後まで永小の#6武田、#9小林の体力が落ちずに走り続け、永小が勝利を収める。

○決勝戦 平成最後の永小BOYS（永明小）11-21 剛勇無双永明中（永明中）

昨年度1回戦で熱戦を繰り広げた両校が決勝戦で当たることとなった。永明小は準決勝を2失点で抑えて圧勝。対する永明中は1、2回戦ともメンバーをどんどん入れ替えながらも危なげなく勝ち上がってきた。

そんな両校の対戦は、永明中#6笠井のミドルシュートによる先制で幕を開ける。その後、永明中は#2武居のセンタープレイと#3依田のドライブで得点を重ねるが、永明小は#9小林のシュートでくらいつき、大きなリードを許さない。その後、お互いに堅守が光りなかなか得点ができない状態が続く。しかし、永明中がゴール下でファールをもらい、何とかフリースローを積み重ね、前半は8-5の永明中リードで折り返す。

後半も両校の堅守が続く、得点が止まる中、永明小#6武田のゴールで永明小がいきなり1点差に詰め寄る展開。ここでタイムアウトを取った永明中はオフェンスをスクリーン中心の攻めに変更。これが功を奏し、永明中が#2武居のセンタープレイ、#8酒井の高さを生かしたリバウンドで流れをつかみ、フリースローによる得点で点差を徐々に広げ始める。永明中はディフェンスも堅く、永明小は思うようにゴールがあげられない。結局点差を広げた永明中が21-11で勝利し、優勝を果たした。